慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	松本信廣博士将来の安南本について(上) : 慶應義塾図書館・松本文庫所蔵安南本解題
Sub Title	On the Vietnamese Han Nom books collected by Dr. Matsumoto
Author	和田, 正彦(Wada, Masahiko)
Publisher	三田史学会
Publication year	1992
Jtitle	史学 (The historical science). Vol.62, No.1/2 (1992. 11) ,p.165- 183
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19921100-0165

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

松本信廣博士将来の安南本について（上）

――慶應義塾図書館・松本文庫所蔵安南本解題――

和田正彦

まえがき

慶應義塾図書館所蔵の「松本文庫」は、昭和五六年三月八日に逝去された故松本信廣博士の遺志に基づいて、ご遺族が博士の母校であり奉職されていた慶應義塾大学に寄託されたものである。その蔵書数は安南本（漢喃本）六〇点をはじめ、洋書一九〇八点、和漢書一六〇一点、洋雑誌三五タイトルであることが、『松本文庫目録（松本信廣名誉教授旧蔵書目録）』（慶應義塾大学三田情報センター、一九九一）によって知られる。

わが国において研究者に公開されている安南本（漢喃本）は、現在のところ、国立国会図書館支部・東洋文庫所蔵の「永田文庫」の九二点[1]を除いては皆無の状態であるので、ヴェトナム研究者にとって、ヴェトナム研究の第一人者であられた故松本信廣博士旧蔵の安南本（漢喃本）が公開されたことは望外の幸せである。

「松本文庫」の内、安南本（漢喃本）は準貴重書扱いとされ、慶應義塾図書館新館の地下四階の保存書庫に収蔵されており、その他の洋書・和漢書・雑誌は同図書館旧館の四階の第一書庫南室に「松本文庫」（請求記号一一三〇－Aから一一三九）として一括収蔵されている（一九九一年八月現在）。

次に安南本（漢喃本）六〇点について、筆者が平成二年末から平成三年初めにかけて行った調査に基づいて、各々その内容を明らかにしていきたい。なお、安南本（漢喃本）の配列は松本信廣博士ご自身が作成されたメモの番号に基づいて付けられた慶應義塾図書館の請求記号順とした。

各安南本（漢喃本）の解題の後に下記の五項目について付記し、読者の参考に資することにした。

（1）安南本（漢喃本）の書誌学的研究には左記の五論文があるので、それぞれの安南本（漢喃本）に該当する項目や参考すべき項目があるときは、その番号等を略号で各解題の末に付記した。

Cadière, L. et Pelliot, Paul : Première étude sur les sources Annamites de l'histoire d'Annam. B. E. F. E. O., IV. 1904. (C.)

Gaspardone, Emile : Bibliographie annamite. B. E. F. E. O., XXXIV. 1934. (G.)

Trần Văn Giáp : Les chapitres bibliographiques de Lê-quí-Đôn et de Phan-huy-Chú. B. S. E. I., XIII-1. 1938. (T. V. G. 1.)

Trần Văn Giáp : Tìm Hiểu Kho Sách Hán Nôm-Nguồn Tư' Liệu Văn Học Sử' Học Việt Nam-Tập I. Hà Nội, Nhà Xuất Bản Văn Học, 1984. (T. V. G. 2.)

Trần Văn Giáp : Tìm Hiểu Kho Sách Hán Nôm-Nguồn Tư' Liệu Văn Học Sử' Học Việt Nam-（對漢喃書庫的考察）The Han Nom Treasury Tập II. Hà Nội, Nhà Xuất Bản Khoa Học Xã Hội, 1990.（上記の続編のため略号は同じ（T. V. G. 2.）とする）

（2）日本人研究者によるベトナム本国やフランスのパリなどの各機関の安南本（漢喃本）の所蔵書目には、左記の八論文があるので、それぞれ安南本（漢喃本）に該当する項目や参考すべき項目があるときは、その番号と頁数を略号で各解題の末に付記した。

松本信廣：河内佛國極東學院所蔵安南本書目『史学』第一三巻第四号。一一七～一二〇四頁、一九三四。（松本一）

（フランス極東学院が一九三〇年当時所蔵していた安南本（漢喃本）のうち、「漢文で記されし安南本」（当時の分類ではA）一一五一八部一八一一冊についての画引き部首順の書目）

松本信廣：越南王室所蔵安南本書目『史学』第一四巻第二号。一一一～一五九頁、一九三五。（松本二）

（フランス極東学院所蔵の写本『新書院守册』（維新六年（一九一一）編纂）および『聚奎書院總目册』（成泰一四年（一九〇二）編纂）に基づく書目）

山本達郎：河内佛國極東學院所藏字喃本及び安南版漢籍書目『史学』第一六巻第四号。七三～一三〇頁、一九三八。（山本一）

（フランス極東学院が一九三六年当時所蔵していた安南本（漢喃本）のうち、「字喃 Chữ Nôm を以て記したもの」（当時の分類ではＡＢ）および「安南版の漢籍」（当時の分類ではＡＣ）についての画引き索引付きの書目）

山本達郎：河内佛國極東學院所藏安南本追加目録『東洋学報』第三六巻第二号。九七～一一二頁、一九五三。（山本二）

（フランス極東学院が（松本一）および（山本一）の発表以後一九五三年初めまでに収蔵した安南本（漢喃本）（当時の分類ではＡ、ＡＢ、ＡＣ）についての書目）

川本邦衛：越南社会科学書院所蔵漢喃本目録『慶應義塾大学言語文化研究所紀要』第二号、一〇三～一三七頁、一九七一。（川本）

（フランス極東学院の蔵書を継承したヴェトナム社会科学図書館が一九五八年以降に収蔵した安南本（漢喃本）の書目（Thư Mục Hán Nôm, phần I, tập 1(1969), Thư Mục Hán Nôm, phần I, tập 2 (1969), Thư Mục Hán Nôm, phần II, tập 1 (1970)の三種）の翻訳）

山本達郎：パリ國民圖書館所藏安南本目録『東洋学報』第三六巻第一号。八七～一〇七頁、一九五三。（山本三）

（パリの国立図書館が一九五二年一〇月当時所蔵していた安南本（漢喃本）のうちAnnamite A（漢文書籍）およびAnnamite B（字喃書籍）についての解題付きの書目）

山本達郎：パリ亞細亞協會所藏安南本書目『東洋文化研究所紀要』第五冊、三一〇～三五二頁、一九五四。（山本四）

（パリのアジア協会が一九五二年当時所蔵していた安南本（漢喃本）のうちアンリ＝マスペロ Henri Maspero が遺贈した安南本（漢喃本）およびランド Landes が遺贈した安南本（漢喃本）についての解題付きの書目）

藤原利一郎：パリ国立図書館新収安南本目録『史窓』第三二号、七七～八一頁、一九七四。（藤原）[2]

（パリの国立図書館が（山本三）の調査以降に一九七三年五月当時までに収蔵した安南本（漢喃本）（当時の分類ではAnnamite A（漢文書籍）、Annamite B（字喃書籍）およびAnnamite C（クォック・グゥ書籍）の三種）についての解題付きの書目）

（3）東洋文庫所蔵の安南本（旧永田本）（東　）と写真版安南本（パリのアジア協会所蔵安南本のマイクロフィルムを焼き付けたもの）（東写　）の中に、それぞれの安南本（漢喃本）に該当するものがあるときは、その架蔵番号を略号で各解題の末に付記した。

（4）ヴェトナムの首都ハノイにある「国家図書館」Thư Viện Quốc Gia（TVQG　）および「社会科学図書館」Thư Viện Khoa Học Xã Hội（TVKHXH）が所蔵する安南本（漢喃本）[3]の中に、それぞれの安南本（漢喃本）に該当するものがあるときは、その架蔵番号を略号で各解題の末に付記した。

（5）ヴェトナム本国で刊行されたヴェトナム語訳本や、日本や諸外国で刑行された影印本、およびヴェトナム本国や日本や諸外国で発表された安南本（漢喃本）に関する研究書や研究論文等については、著者の知見した範囲（一部未見のものを含む）において、著者名、翻訳者名、校訂者名、書名、出版社名、または論文名、掲載雑誌名、発行年、頁数などの必要事項を各解題の末に付記した。

（1）永田文庫の書目としては、岩井大慧：永田安吉氏蒐集安南本目録『史學』第一四巻第二号、一〇一～一〇九頁、一九三五。がある。この書目によると、一九三四年八月現在の東洋文庫所蔵の安南本（漢喃本）は九二部五五〇冊である。また、『東洋文庫朝鮮本分類目録附安南本目録』（一九三九）もあるが、そこに記されている架蔵番号は現行のものと異なる。なお、永田安吉は佛領印度支那（フランス領インドシナ連邦）河内（ハノイ）駐在大日本帝國總領事や外務省調査課長を歴任した人物である。

（2）藤原博士には、ほかに藤原利一郎：パリ国立図書館新収安南本について『私学研修』第六三号、五〇～五八頁、一九七四。があるが、内容はほぼ同じである。

（3）これらの架蔵番号については、（1）の三、四番目の（T. V. G. 1.）および（T. V. G. 2.）の各安南本（漢喃本）の項目に付記されたものと、著者が一九八五年一〇月から一九八七年八月にかけてハノイ総合大学 Trường Đại Học Tổng Hợp Hà Nội のヴェトナム語科 Khoa Tiếng Việt に留学したときに「国家図書館」Thư Viện Quốc Gia に通って（一九八六年七月一三日～一〇月一一日）調査したものに基づく。ただし、留学当時、「国家図書館」Thư Viện Quốc Gia には図書カードのみ（全五一主題、字喃本二二八枚二四三冊、字喃混じり安南漢籍一五九枚一六八冊、安南漢籍一六六四枚二〇三二冊）で、現物はホー・チ・ミン市（旧サイゴン）に移管されていてハノイには所蔵されていないということであった。なお、国家図書館所蔵の安南本（漢喃本）の書目については別の機会に発表したい。また、上記の二機関以外にハノイの漢喃研究所 Viện Nghiên Cứu Hán Nôm および歴史学研究所

Viện Sử Học にも安南本（漢喃本）が所蔵されている。これらの機関の安南本（漢喃本）についても後日調査の機会を得て発表したいと考えている。

〈解題〉

一、歴朝憲章類誌　写本一四冊四九巻　潘輝注

（二四四－一－一四）

この写本は下記のごとく「巻之四十六　邦交誌　冊封之典」が欠けている。また第一四冊は第一冊から第一三冊までとは明らかに違う写本であり、欠冊を補ったいわゆる取合わせ本である。

第一冊（二七、九cm×一五、五cm）は、表紙は香色で、題僉なし。副葉子三葉。扉葉に「明命元年（一八二〇）輯成／歴朝憲章類誌／上進　臣（潘輝）注稽首頓謹」とある。本文（八六葉、一頁八行、一行三三字前後）は扉葉裏よりはじまり、「臣潘輝注謹序」、「類誌次序引」、「凡例」、「目録」および「巻之一　輿地誌　歴代疆界之殊」、「巻之二　輿地誌　諸道風土之別」（清華・乂安・山南）、「巻之三　輿地誌　諸道風土之別」（京北・山西・海陽・安廣）、「巻之四　輿地誌　諸道風土之別」（興化・太原・高平・諒山）、「巻之五　輿地誌　諸道風土之別」（順化・廣南・富安・平康・延慶・平順・嘉定・定遠・河僊）を収める。裏副葉子二葉。裏表紙は表紙に同じ。

第二冊（二七、九cm×一五、五cm）は、表紙は香色で、反古紙（洋紙）で裏打ちしてある。題僉は「人物誌　帝王之統」。副葉子一葉。扉葉はなし。本文（九三葉、一頁八行、一行二七字前後（巻六）または一行三〇字前後（巻七・八））は「巻之六　人物誌　帝王之統」、「巻之七　人物誌　勲賢之輔」（李時四人・陳時一二人・黎初一八人・莫時一人）、「巻之八　人物誌　勲賢之輔」（黎中興後三九人）を収める。「巻之六」の後に副葉子二葉あり。裏副葉子なし。裏表紙は反古紙。

第三冊（二七、七cm×一五、五cm）は、表紙は反古紙二重で、題僉なし。副葉子一葉。扉葉なし。本文（九五葉、一頁八行、一行三二字前後（巻九・一〇）または一行二〇字前後（巻一一・一二））は「巻之九　人物誌　名良之将」（李時二人・陳時四人・黎初一〇人）、「巻之十　人物誌　名良之将」（黎中興後一九人）、「巻之十一　人物誌　徳業之儒」（陳時一人　黎初一〇人・莫時四人・黎中興以後一四人）、「巻之十二　人物誌　節義之臣」（陳時六人・黎初四二人・黎末一人）を収める。「巻

之十」の後に副葉子三葉あり。裏副葉子なし。裏表紙は反古紙二重。

第四冊（二七、一cm×一五、五cm）は、表紙は反古紙で、題僉なし。副葉子なし。扉葉なし。本文（一〇九葉、一頁八行、一行二〇字前後（巻一三・一四・一五）または一行二二字前後（巻一六））は「巻之十三　官職誌　歴代分設之綱」、「巻之十四　官職誌　官名沿革之別」、「巻之十五　官職誌　庶司職掌之殊」、「巻之十六　官職誌　庶司職掌之殊」を収める。裏副葉子なし。裏表紙は反古紙。

第五冊（二七、二cm×一五、九cm）は、表紙は厚手洋紙で、題僉なし。副葉子一葉。扉葉なし。本文（七四葉、一頁八行、一行二五字前後）は「巻之十七　官職誌　爵蔭資塗之別」、「巻之十八　官職誌　仕例恩恤之典」、「巻之十九　官職誌　銓擧考課之別」を収めるが、第一葉は厚手洋紙で裏打ちしてある。裏副葉子なし。裏表紙は表紙に同じ。

第六冊（二五、八cm×一四、八cm）は、表紙は渋塗り反古紙で、題僉なし。副葉子一葉。扉葉なし。本文（七六葉、一頁七行、一行二二字前後（巻二〇）または一行二二字前後（巻二一・二二））は「巻之二十　禮儀誌　帝王冕服之制・百官章服之制・帝王輿衛之儀・百官輿衛之儀」、「巻之二十一　禮儀誌　郊祀天地之禮・宗廟奉事之禮」、「巻之二十二　禮儀誌　朝廷慶加之禮」を収める。裏副葉子なし。裏表紙は表紙に同じ。

第七冊（二七、三cm×一五、二cm）は、表紙は厚手洋紙で、題僉なし。副葉子は一葉。扉葉なし。本文（八六葉、一頁八行、一行二五字前後）は「巻之二十三　禮儀誌　國恤喪事之禮」、「巻之二十四　禮儀誌　進尊冊封之禮」、「巻之二十五　禮儀誌　追尊冊封之禮・祭告祈禳之禮」を収める。裏副葉子なし。裏表紙は表紙に同じ。

第八冊（二七、一cm×一五、五cm）は、表紙は薄紅色厚手洋紙で、題僉なし。副葉子一葉。扉葉なし。本文（七六葉、一頁八行、一行二四字前後）は「巻之二十六　科目誌　歴代試法之綱」、「巻之二十七　科目誌　郷會考試之例・殿試宴榮之例」、「巻之二十八　科目誌　歴科登中之數」を収める。裏副葉子一葉。裏表紙は表紙に同じ。

第九冊（二七、二cm×一五、七cm）は、表紙は薄紅色厚手洋紙で、題僉なし。副葉子一葉。扉葉なし。本文（七九葉、一頁八行、一行二四字前後）は「巻之二十九　國用誌　丁戸之籍・賦斂之法」、「巻之三十　國用誌　銭幣之用・田土之制・洲土制附」、「巻之三十一　國用誌

征榷之課・巡渡之稅・市稅附」、「卷之三十二　國用誌　徵收之例・經用之費」を収める。裏副葉子なし。裏表紙は表紙に同じ。

第一〇冊（二七、二cm×一五、八cm）は、表紙は薄茶色厚手洋紙で、題僉なし。副葉子一葉。扉葉は香色で「刑律誌」とある。本文（五四葉、一頁八行、一行二四字前後）は「卷之三十三　刑律誌　歷代删定之綱」、「卷之三十四　刑律誌　刑法名例之別」、「卷之三十五　刑律誌　禁衛軍政之律・戶婚田産之律」を収める。裏副葉子一葉。裏表紙は表紙に同じ。

第一一冊（二八、八cm×一六、二cm）は、表紙は薄茶色厚手洋紙で、題僉なし。副葉子一葉。扉葉なし。本文（七五葉、一頁八行、一行二四字前後）は「卷之三十六　刑律誌　盜賊奸淫之律・鬪訟詐僞僞之律」、「卷之三十七　刑律誌　違制雜犯之律・捕亡斷獄之律」、「卷之三十八　刑律誌　勘訟事例之條」を収める。裏副葉子なし。裏表紙は表紙に同じ。

第一二冊（二七、〇cm×一五、七cm）は、表紙は薄茶色厚手洋紙で、題僉なし。副葉子一葉。扉葉なし。本文（六六葉、一頁八行、一行二五字前後）は「卷之三十九　兵制誌　設置之額・揀選之法（汰替附）」、「卷之四十　兵制誌　養恤之典・調集之具・禁戒之條」、「卷之四十一　兵制誌　考試之法・奉侍之例」を収める。裏副葉子なし。裏表紙は表紙に同じ。

第一三冊（二六、七cm×一五、五cm）は、表紙は反古洋紙で、題僉なし。副葉子一葉。扉葉なし。本文（八十葉、一頁八行、一行二四字前後）は「卷之四十二　文籍誌　憲章類・經史類」、「卷之四十三　文籍誌　詩文類（上）」、「卷之四十四　文籍誌　詩文類（下）」、「卷之四十五　文籍誌　傳記類」を収める。裏副葉子なし。裏表紙は表紙に同じ。

第一四冊（一五、二cm×一四、七cm）は、表紙は渋塗り反古紙で、題僉なし。副葉子一葉。扉葉なし。本文（一二〇葉、一頁七行、一行二五字前後）は「卷之四十七　邦交誌　貢聘之禮」、「卷之四十八　邦交誌　款接之儀」、「卷之四十九　邦交誌　辺疆之事」を収める。なお、第一葉表より第二二葉表の各葉に蔵書印が押されているが、印影が薄くて判読できない。裏副葉子一葉。裏表紙は表紙に同じ。

（C. 98『歷朝憲章類誌』）（G. P. 29～32）（T. V. G. 1. P. 35～39）（T. V. G. 2. 415『歷朝憲章類誌』）（松本一一九六頁　一三五八『歷朝憲章』十本、五〇『歷朝憲

章』四帙、一二一二四『歴朝憲章』（欠巻六之八）十二本、一八八三『歴朝憲章』（巻六之八）一本、一五五一『歴朝憲章類誌』十三本、一四四五『歴朝憲章類誌』一本、一一〇六一『歴朝憲章類誌』（自巻首至巻五）一本）（松本一一　一三四頁『歴朝憲章類誌』現拾参本　原物蟲穿）（山本一　なし）（山本二　なし）（川本　なし）（山本三八九頁　A六『歴朝憲章類誌』一四冊　寫）（山本四三一七頁　HM一一一六『歴朝憲章類誌』一〇冊　寫）（藤原　なし）（東　X一一一三八、X一一一三九）（東　写　なし）（TVQG. R. 1610）（TVKHXH. A. 1551/1-8）

［ヴェトナム語訳本・影印本・その他］

Phan Huy Chú. Tổ Biên Dịch, Viện Sử' Học Việt Nam phiên dịch và chú giải : Lịch Triều Hiến Chu'o'ng Loại Chí tập 1. Du' Địa Chí・Nhân Vật Chí. Nhà Xuất Bản Sử' Học, Hà Nội, 1960. 352pp.

ibit. : Lịch Triều Hiến Chu'o'ng Loại Chí tập 2. Quan Chú'c Chí・Lễ Nghi Chí. ibit., 1961. 206pp.

ibit. : Lịch Triều Hien Chu'o'ng Loại Chí tập 3. Khoa Mục Chí・Quốc Dụng Chí・Hình Luật Chí. ibit., 1961. 174pp.

ibit. : Lịch Triều Hiến Chu'o'ng Loại Chí tập 4. Binh Chế Chí・Văn Tịch Chí・Bang Giao Chí. ibit., 1962. 287pp.

Phan Huy Chú. Nguyễn Thọ Dụ'c bản dịch : Lịch Triều Hiến Chu'o'ng Loại Chí Tập I. Quyển Thủ・Quyển I, II, III, IV, V ; Du' Đia Chí. (Tủ Sách Cổ Văn, Ủy Ban Dịch Thuật) Phủ Quốc-Vụ-Khanh Đặc-Trách Văn-Hóa Xuất-Bản, Sàigòn, 1972. 372＋295pp.

ibit. : Lịch Triều Hiến Chu'o'ng Loại Chí Tập II. (Thu'ợ'ng) ; Quyển VI, VII và VIII ; Nhân Vật Chí. (ibit.) Bộ Văn Hoá Giáo Dục và Thanh Niên xuất bản. Sàigòn, 1973. 291＋CCCXXXIIpp.

ibit. : Lịch Triều Hiến Chu'o'ng Loại Chí Tập II(Hạ). Quyển IX, X, XI và XII ; Nhân Vật Chí. (ibit.) ibit. 1973. 243＋320pp.

ibit. : Lịch Triều Hiến Chu'o'ng Loại Chí Tập III. Quyển XIII, XIV, XV, XVI, XVII, XVIII và XIX ; Quan Chú'c Chí. (ibit.) ibit. 1973?. ?＋?pp.

ibit. : Lịch Triều Hiến Chu'o'ng Loại Chí Tập IV. Quyển XX, XXI, XXII, XXIII, XXIV và XXV ; Lễ Nghi Chí. (ibit.) ibit. 1974. 300＋CCCVpp.

ibit. : Lịch Triều Hiến Chu'o'ng Loại Chí Tập V. Quyển XXVI, XXVII và XXVIII ; Khoa Mục Chí. (ibit.) ibit. 1974?. ?+?pp.

ibit. : Lịch Triều Hiến Chu'o'ng Loại Chí Tập VI. Quyển XXIX, XXX, XXXI và XXXII ; Quốc Dụng Chí. (ibit.) ibit. 1974?. ?+?pp.

ibit. : Lịch Triều Hiến Chu'o'ng Loại Chí Tập VII. Quyển XXXIII, XXXIV, XXXV, XXXVI, XXXVII và XXXVIII ; Hình Luật Chí. (ibit.) ibit., 1974?. ?+?pp.

ibit. : Lịch Triều Hiến Chu'o'ng Loại Chí Tập VIII. Quyển XXXVIII, XXXIX, XL và XLI ; Binh Chế Chí. (ibit.) ibit., 1974?. ?+?pp.

ibit. : Lịch Triều Hiến Chu'o'ng Loại Chí Tập IX. Quyển XLII, XLIII, XLIV và XLV ; Văn Tịch Chí. (ibit.) ibit., 1974. 273+CCXIVpp.

ibit. : Lịch Triều Hiến Chu'o'ng Loại Chí Tập X. Quyển XLVI, XLVII, XLVIII và XLIX ; Bang Giao Chí. (ibit.) ibit., 1974?. ?+?pp.

(但し、Tập IV, Tập V, Tập VI, Tập VII, Tập VIII, Tập X は未刊?-のために未見)

二、旅中雑説　写本一冊　（裴輝璧）

（二四四―二―一）

この写本（二九、八cm×一七、四cm）は、表紙は薄紅色厚手洋紙で、題僉なし。副葉紙なし。扉葉なし。「小引」（一葉）。本文（一〇三葉、一頁八行、一行二四～二九字（第一葉表～第九葉裏）、一頁八行、一行一五～一九字（第一〇葉表～第一〇三葉表）は中国の諸子・諸人の著作から有用な部分を採録した「雑説上」（第一葉～第五六葉、朱点多い）と、著者の見聞に基づいたヴェトナムの地理・歴史・制度・政治・文学・風俗などに関する記事を収採した「雑説下」（第五六葉～第一〇三葉）からなる。裏副葉子なし。裏表紙は表紙に同じ。なお、この写本の著者や著作年代については、「小引」の末に「夫歳己酉（一七八九）立冬後一日、存翁識于石室耕耨之寓齋」とあり、本文中に「吾祖肅齋公吾父竹園公皆愼守家風云々、肅齋公（中略）清華憲副云々」とあることから、著者は黎朝末期の裴輝璧（一七四四～一八一八）で、著作年代は黎朝愍帝の昭統三年（一七八九）であることが判る。

（C. 83『旅中雑説』）（G. P. 14～15. 注六）（T. V. G. 1. P. 148『又安詩集』）（T. V. G. 2. 414）（松本一　一六

六頁　一五一『旅中雑説』）（松本二　なし）（山本一　なし）（山本二　なし）（川本　なし）（山本三　なし）（山本四　なし）（藤原　なし）（東　なし）（東写　なし）（TVQG. なし）（TVKHXH. A. 151. VHv. 1804）

三、公餘捷記　写本三冊一〇巻　（武芳瑆）

（二四四―三―三）

第一冊（二七、九cm×一五、八cm）は、表紙は渋塗り反古紙で、題僉なし。副葉子なし。扉葉なし。本文（三一葉、一頁九行、一行三〇字前後）は「巻之一」、「巻之二」および「巻之三」を収める。「巻之一」は「傘圓山靈神傳記」、「金顔山記」、「鎮武觀神夢顯應記」、「湖口靈祠記」、「清華靈祠記」からなる。「巻之二」は「厚俸光明寺記」、「貝溪寺記」、「螺大王傳記」、「強暴大王傳記」、「杜林潭記」からなる。「巻之三」は「下邳異人記」、「前劫輪廻傳」、「四子登科傳」、「天子到家傳」、「南華木匠記」、「鬼母報復傳」、「客人埋金傳」、「白犬三足傳」、「惜鶏埋母傳」からなる。裏副葉子一葉。裏表紙は表紙に同じ。

第二冊（二七、二cm×一六、〇cm）は、表紙は渋塗り反古紙で、題僉なし。副葉子なし。扉葉なし。本文（六〇葉、一頁九行、一行三〇字前後）は「巻之四」と「巻之五」を収める。「巻之四」は「眞福阮國公傳」、「演州大守記」、「呉俊襲傳」、「天祿潘廷佐傳」、「山圍節義記」、「阮堯咨傳」、「仙人范員記」、「進士陳名標記」、「古遼状記」、「陳伯敏記」、「榜眼阮全安記」、「阮左沟傳記」、「關中黎敬記」、「長僕阮公欣傳」、「進士阮秩傳」、「至靈阮邁傳」、「馮尚書（克寛）傳」、「阮尚書（公沆）傳」、「雲耕節義記」、「裴仕暹武公宰傳」、「阮憲副假子」、「縣官阮名舉傳」、「阮氏点記」、「慕澤宰相記」、「尚書武公道記　附卓犖登龍」、「尚書武惟斷記」、「尚書武瓊記　附武幹」、「參議武登顯記」、「棋状元記」、「状元黎鼎記」、「廉節臣記」、「少保陳瑋記」、「尚書鄭鉄長記　附阮直」、「范鎮杜汪記」、「尚書黎如虎記」、「探花郭佳（住）記」、「黎景詢記」、「尚書張孚説記」、「羅山阮監生記」、「扶擁節婦記」、「慕澤大興侯記」、「保伍玭郡公記」、「詠梂祖墓記」からなる。「巻之五」は「塋神馬丁氏以克勝一輿圖　丁朝祖墓記」、「枕後象陳家以顔色得天下　陳莫朝祖墓記」、「吉局神留武族世承爵禄　中行武祖墓記」、「舊穴天葬寒妻孕出宮妃黄舍宮妃記」、「冗在蟾蜍影薄藝人得入王宮　紫沈鄒庚記」、「借宿蛟龍形良心母獲開覺路」、「狼野心恩養難馴」、「鼠覆面機知獲免」からなる。裏副葉子一葉。裏表紙は

表紙に同じ。

第三冊（二八、〇cm×一六、〇cm）は、表紙は渋塗り反古紙で、題僉なし。副葉紙なし。扉葉なし。本文（六〇葉、一頁九行、一行三〇字前後）は「卷之六」、「卷之七」、「卷之八」、「卷之九」および「卷之十」を収める。但し、第一四葉が重複しているので、版心の葉数とはずれがある。「卷之六」は「莫状元殊絶人物」、「阮榜眼不負科名」、「呉榜眼得魁背江神」、「丁探花打球祝經壽」、「阮御史曲蔽服土豪」、「陳東閣才名冠當世」、「傑特御史食巨鯉交趾爭標」、「壘陽神童宰一牛造卷赴舉」、「突嶺碉土郷却有大白鱔」、「雄溪入學禮自宰一耕牛」、「泉郡公年回歳讀書」、「錦郡公邁八旬致仕」からなる。「卷之七」は「楊先賢淑人宜享報」、「阮少年應対試成名」、「詞賦蒜名仗鬼神感格」、「文章黎英俊天下推稱」、「懐抱探花事業先形妖女」、「天姥国老梦寐獲接聖人」、「黎尚書苛刻可畏」、「何榜眼才俊堪誇」、「簡清應対知終必做大魁」、「阮敲作詩決復必登進士」、「丹輪探寄詩作讖」、「褒中尚（書）矢口成章」からなる。「卷之八」は「中興後益卑文體」、「萬劫廟能制淫神」、「安朗公兆應傍人」、「済文侯事形大誥」、「陶状元應口驗前程」、「劉名公見面取及第」、「詩梦訣科勝神梦」、「阮公入相應荊公」、「所存放榜甚玄機」、「卽假成真都妙計」、「誤犯供詞成好合」、「折字應対見心機」からなる。「卷之九」は「昭侯詩戯有典嚢」、「經義文叙見氣象」、「隠語句巧嘲舛字」、「園俗聢切戯無鬚」、「平灘詩謀得好妻」、「成材対合成佳偶」、「牛欄対足知前定」、「蜻蜓贊不可較顰」、「踵姦礼唱知豪傑」、「誦偈詩題見女仙」、「帝王氣象見於詩」、「國家安危關一表」、「伶人善排優片言囘天力」、「禮妃生聰慧一鏡照三王」からなる。「卷之十」は「香海寺餘靈夙著」、「仁恵祠經亂獨存」、「陳國老世稱異術」、「髙山王號神醫」、「漱玉橋後作名藍」、「産珠井古稱上品」、「麗奇嶺鼓鐵靈異」、「獨尊山雲雨鑿腰」、「玄雲洞清光佳致」、「平灘水甘美異常」、「扶桑庵長老徃遊」、「大悲寺北人所建」、「瀘江文遠竄鱷魚」、「拠山穴案朝白鴈」、「状元程國公白雲庵居士記」、「済文侯阮薦譜記」、「太宰梅郡公馮相公事跡」、「状元甲海記」（附甲豊記）からなる。裏副葉子一葉。裏表紙は表紙に同じ。

（C. なし）（G. 一二九『公餘捷記』）（T. V. G. 1. 116『公餘捷記』）（T. V. G. 2. なし）（松本一　一三〇頁　四四『公餘捷記』一帙、一八九三『公餘捷記』一本、一九三〇『公餘捷記』一本、二〇一〇『公餘捷記摘録』一本）（松本二　なし）（山本一　なし）（山本二　なし）

（川本　一二八頁　二五一『公餘捷記』（武芳堤ママ）四部五冊）（山本三　なし）（山本四　なし）（藤原　なし）（東なし）（東写　なし）（TVQG. R. 1725, R. 248, R. 229）（TVKHXH. なし）

[ヴェトナム語訳本・影印本・その他]

Vũ Phư'ơng Đề. Nguyễn Đình Diệm dịch : Công Dư' Tiệp Ký Quyển I. Bộ Quốc-Gia Giáo -Dục Xuất-Bản, Sàigòn, 1962?. ?pp.（未見）

ibit. : Công Dư' Tiệp Ky Quyển II. ibit. 1962?. ?pp.（未見）

ibit. : Công Dư' Tiệp Ký Quyển III. ibit. 1962. 184pp.

Vũ Phư'ơng Đề. Nguyễn Đình Diệm dịch : Công Dư' Tiệp Ký. Trung Tâm Học Liệu, Bộ Giáo Dục, Sàigòn, 1972. 428pp.

四、公餘捷記　写本一冊六巻　（武芳堤）

（一四四－四－一）

この写本（二七、四㎝×一五、八㎝）は、表紙を欠く。副葉子二葉。封面なし。本文（九五葉、一頁八行、一行二二字前後）は「巻之五」、「巻之六」、「巻之七」、「巻之八」、「巻之九」、「巻之十」を収める破本である。なお、「巻之五」には三の「巻之四」の「慕澤宰相記」が「慕澤武族記」（第六～七葉）の名で挿入されているが、「巻之九」の「昭侯云々」と「經義云々」を欠く。また、「阮氏路答書云」の一節が「大宰梅郡公馮相公事跡」の前にある。裏副葉子なし。裏表紙は薄紅色厚手洋紙。付記は三に同じ。

五、公餘捷記　写本一冊　（武芳堤）

（一四四－五－一）

この写本（二七、五㎝×一五、七㎝）は、表紙は薄紅色厚手洋紙で、題僉なし。副葉子二葉。封面なし。本文（一一〇葉、一頁八行、一行二六字前後）は破本で、巻別もなく、「巻之四」に「巻之一」（「金顔山記」、「鎮武觀神夢顯應記」、「湖口靈祠」、「清華靈祠記」の四節）、「巻之二」（「杜林潭記」、「螺大王傳記」、「貝溪寺記」、「厚俸光明寺記」の五節）、「巻之三」（「天子到家傳」、「惜鷄埋母傳」、「南華木匠記（附青池裕泉寺僧傳）」、「四子登科」、「前劫輪廻傳」、「白犬三足」、「鬼母報復傳」、「客人埋金傳」、「下邳異人記」の九節）、「巻之十」（「状元阮甲海傳」の一節）など他の巻の内容や三に無い内容

（「傘圓山靈神傳續記」の一節）が一部混入している。また、「巻之四」の内容も順番が入れ違ったもの（「榜眼阮金安記」、「阮左沟傳記」の二節）もある。裏副葉子なし。裏表紙は表紙に同じ。

付記は三に同じ。

六、見聞小録　写本二冊三巻　（黎貴惇）

（二四四―六―二）

第一冊（三〇、一cm×一七、二cm）は、表紙は渋塗り反古紙（慈山府桂陽縣知二總富老社社長阮廷標の嘉隆九年（一八一〇）三月二〇日付の地方文書）で、題僉なし。副葉子一葉。封面なし。「景興丁酉（一七七七）五月上澣、入侍陪從戸部左侍郎行都御史兼國子監祭酒國史總裁潁城侯延河桂堂黎允厚書」の「序」（一葉）と「目録」（一葉）あり。本文（一〇一葉、一頁八行、一行三〇字前後）は「巻之一」（箴儆）、「巻之弐」（体例上）を収める。ただし、朱点、朱圏多く、また第三五葉裏、第五七葉裏、第六四葉裏、第八六葉裏はともに白紙。裏副葉子なし。裏表紙は表紙に同じ。

第二冊（三〇、〇cm×一七、一cm）は、表紙は渋塗り反古紙で、題僉なし。副葉子は反古紙一葉。封面なし。本文（四六葉、一頁八行、一行三〇字前後）は「巻之四」（篇章）、「巻之五」（才品）を収める。裏副葉子一葉。裏表紙は表紙に同じ。

この写本は破本である。完本は全一二巻九目で、巻之一（箴儆）、巻之弐（体例上）、巻之三（体例下）、巻之四（篇章）、巻之五（才品）、巻之六（封域上）、巻之七（封域中）、巻之八（封域下）、巻之九（禪逸）、巻之十（靈跡）、巻之十一（方術）、巻之十二（叢談）からなる。（C. P. 636. 30『見聞録』）（G. P. 29『見聞小録』）（T. V. G. 1. P. 191『見聞小録』）（T. V. G. 2. 417『見聞小録』）（松本一　一四六頁　三二一『見聞小録』、三一『見聞録』、一五六二『見聞録』）（松本二　一三七頁『見聞録』壹本　内有朱攷跡　蘭江武允亨撰）（山本一　なし）（山本二　なし）（川本　なし）（山本三　なし）（山本四　三二八頁　HM二二七四『見聞小録』　三冊　寫）（藤原　なし）（東　なし）（東写　なし）（TVQG. なし）（TVKHXH. A. 32）

[ヴェトナム語訳本・影印本・その他]

Lê Quý Đôn. Phạm Trọng Điềm phiên dịch và chú thích : Kiến Văn Tiểu Lục. Nhà Xuất Bản Sự' Học, Hà Nội,

1963. 544pp.

Lê Quý Đôn soạn-giả. Đàm Duy Tạo dịch-giả : Kiến Văn Tiểu Lục Tập Nhất. Tủ Sách Dịch-Thuật, Bộ Văn-Hóa Giáo-Dục Xuất-Bản, Saigon, 1965?. ?pp.（未見）

ibit. : Kiến Văn Tiểu Lục Tập Nhì. ibit., 1965. 544pp.

Lê Quý Đôn. Viện Sử Học dịch và chú thích : Lê Quý Đôn Toàn Tập Tập II Kiến Văn Tiểu Lục. Nhà Xuất Bản Khoa Học Xã Hội, Hà Nội 1977. 467pp.

七、芸臺類語　写本二冊九巻　（黎貴惇）

（二四四－七－二）

第一冊（二五、三cm×一三、八cm）は、表紙は黄色で地紋に雲・龍の紋様があるが、題僉はなし。副葉子二葉。封面なし。「序」（二葉）、「目録引」（一葉）あり。本文（一一二葉、一頁八行、一行二五字前後）は「巻之一」（理氣語一）、「巻之弐」（形象語二）、「巻之三」（區字語三）、「巻之四」（典彙語四）、「巻之五」（文藝語五）を収める。裏副葉子二葉。裏表紙は表紙に同じ。

第二冊（二五、四cm×一三、四cm）は、表紙は黄色で地紋に雲・龍の紋様があるが、題僉はなし。副葉子一葉。封面なし。本文（七四葉、一頁八行、一行二五字前後）は「巻之六」（音字語六）、「巻之七」（書籍語七）、「巻之八」（仕規語八）、「巻之九」（品物語九）を収める。裏副葉子一葉。裏表紙は表紙に同じ。

（C. 125『芸臺類語』）（G. P. 27『芸臺類語』）（T. V. G. 1. P. 190『芸臺類語』）（T. V. G. 2. 418）（松本一　一五二頁　一一五八『芸臺類語』一帙、一二三八『芸臺類語』一本、一四一『芸臺類語』一二本）（松本二　一一九頁　二六二號『芸臺類語』貳本　微腐欠巻四巻五六、一三七頁『芸臺類語』現貳本　均蟲穿聖跡　延河黎貴惇撰）（山本一　なし）（山本二　なし）（川本　なし）（山本三　なし）（山本四　二三四頁　HM二一〇〇『芸臺類語』一冊）（藤原　なし）（東　X－三－四、X－三－五）（東写　なし）（TVQG. R. 118　巻之一、二、R. 117　巻之三、四、R. 119　巻之九、R. 136）（TVKHXH. R. 1258, A. 141）

［ヴェトナム語訳本・影印本・その他］

Lê Quý Đôn. Trần Văn Giáp biên dịch và khảo thích, Trần Văn Khang làm sách dẫn, Cao Xuân Huy hiệu đính và giới thiệu : Vân Đài Loại Ngữ I. Nhà Xuất Bản Văn Hóa, Hà Nội, 1962. 252pp.

ibit. : Văn Đài Loại Ngữ' II. ibit., 1962. 328pp.
Lê Quý Đôn biên soan. Phạm Vũ, Lê Hiền dịch và chú giải. Việt-Nam Bách-Khoa Toàn-Thư' Văn Đài Loại Ngữ'. Nhà Xuất Bản Miền Nam, Sàigòn, 1973. 559pp.

八、讀書格言（附官箴捷録）　版本二冊二巻　阮文珊

（二四四－八－二）

第一冊（二五、八㎝×二五、三㎝）は、表紙は渋塗りで、題僉なし。副葉子一葉。封面には「成泰乙未柒年（一八九五）冬鐫／海株子編輯／讀書格言／文江多牛文山堂藏板」とある。扉葉裏には「捐資助成敬列芳名」とあり、その文末には「海陽省柳撞社從九品匠目阮文瓏奉刻」とある。本文（六五葉、一頁一〇行、一行二八字）は「序説」三種（成泰七年乙未（一八九五）冬孟古蘭丁孟至靜齋謹跋）、嗣德二十七年（一八七四）仲秋同州京北次賛襄軍務安亭呉篤軒謹識）、嗣德二十年（一八六七）丁卯季夏文多居士阮文珊海株子盥手謹識）、「讀書格言義例」、「次目」、「諸書取用」、「巻乃壹」を収める。「巻乃壹」は「爲學第一」、「取友第二」、「改過第三」、「思孝第四」、「省身第五」、「存心第六」、「思誠第七」、「謹言第八」、「立志第九」を収める。裏副葉子は反古紙一葉。裏表紙はなし。

第二冊（二六、〇㎝～二五、五㎝×二五、二㎝）は、表紙は香色で、題僉なし。副葉子なし。封面なし。本文（五八葉、一頁一〇行、一行二八字）は「讀書格言巻乃二」および「官箴捷録」（海株子編輯）を収める。「讀書格言巻乃二」は「愼獨第十」、「進德第十一」、「處家第十二」、「知耻第十三」、「接物第十四」、「盪胸第十五」、「格致第十六」、「附過庭訓」からなる。「官箴捷録」は本文一一葉、一頁一〇行、一行二七字前後で、「嗣德十四年（一八六一）歳在辛酉純陽之吉海株子文山阮書題」、「官守格言　海株子編輯　呂叔簡先生居官刑戒八章」とある。裏副葉子なし。裏表紙は表紙に同じ。

（C. なし）（G. なし）（T. V. G. 1. なし）（T. V. G. 2. なし）（松本一　二〇二頁　二一九『讀書格言』一帙、一五三頁　二一七『官箴捷録』一帙）（松本二　なし）

（山本一　なし）（山本二　なし）（川本　なし）（山本三　なし）（山本四　なし）（藤原　なし）（東　なし）（東写　なし）（TVQG. R. 494, R. 1432, R. 195）（TVKHXH. なし）

九、世代源流刀耕火種評皇券牒　写本一冊

（二四四－九－一）

この写本（二九、〇cm×一六、五cm）は、表紙は香色で、題僉なし。副葉子なし。封面には「世代源流刀耕火種／評皇券牒／趙有進號」とある。本文（一三葉、一頁五行、一行一四、一五字）は、「景定元年（中国・南宋一二六〇）拾月廿一日」の「評皇券牒」の写しである。裏副葉子なし。裏表紙は表紙に同じ。

（C.なし）（G.なし）（T.V.G.1.なし）（T.V.G.2.なし）（松本一　なし）（松本二　なし）（山本一　なし）（山本二　一〇六頁　三一〇六『評皇券牒』一幅）（川本　なし）（山本三　なし）（山本四　なし）（藤原　なし）（東　なし）（東写　なし）（TVQG.なし）（TVKHXH.なし）

一〇、玉山經壇神化除災解難金册　版本一册

（二四四－一〇－一）

この写本（二六、四cm×一五、五cm）は、表紙は黄色。題僉、封面には「神化除災解難金册」、扉葉裏には「經奉　北圻貴統使府閲依」とある。表紙に三重丸の蔵書印（円内は河内？？會、中円はCOMITE CENTRAL DE HANOI、外円はCOMITE SOCIETE ENSEIGNEMENT MUTUEL DES TONKINOIS）あり。副葉子一葉。本文巻頭題署は「玉山經壇神化除災解難金册」とある。版心には「神化金册」とある。本文（四〇葉、一頁六行、一行一七字）は「第一節欽録玉清元始天王金闕上帝心經演説」、「第二節欽録皇朝風教典例」、「第三節欽録皇陳先帝禪偈」、「第四節恭述周子太極圖」と「恭録文昌眞君大洞經總義」、「第五節恭録關聖眞君經訓」、「第六節恭録呂祖眞經偈言」、「第七節恭録至聖孔子孝經」、「第八節恭録老子道徳經言」、「第九節恭録古佛四十二章經説」、「金册總論」、「神化除災解難金册演音」（六八体）（一頁八行、全二三四行）、「奉録講堂戒條」（七條）からなり、句点あり。刊記・奥附は「皇南維新肆年（一九一〇）歳庚戌五月朔册命、六月朔册成／河内玉山祠藏板、敬印度送不取分文板二十一片紙四十一張／河城玉山壇生　陳仲杭奉編輯、陳文燈奉演音、陳輝珵奉書、黎誠・阮文院奉訂、陳埏琁・陳廷達奉檢」とある。裏副葉子一葉。裏表紙は表紙に同じ。

（C.なし）（G.なし）（T.V.G.1.なし）（T.V.G.2.なし）（松本一　なし）（松本二　なし）（山本一　なし）（山本二　なし）（川本　なし）（山本三　なし）（山本四　なし）（藤原　なし）（東　X－三－二）（東写　なし）

(TVQG. R. 483) (TVKHXH. なし)

一一、訂輯　天南地鑑・地理郭氏篡要秘傳・地理析髄經　他　写本一冊　(二四四－一一－一)

この写本（二七、八cm×一六、七cm）は、表紙は渋塗り反古紙で、題僉なし。副葉子一葉。封面なし。巻頭題署は「訂輯天南地鑑　宝書性理　大統精微　會成元徳　㬎明奥旨　鹿聢八韻歌」とある。本文（一〇九葉、一頁九行、一行三〇字前後）は「訂輯天南地鑑」、「地理郭氏篡要秘傳」、「雜記」、「地理析髄經（國師誠意列先生著）」、「日照萬點金籙序（國師誠意列先生傳）」、「雜」からなる。「訂輯天南地鑑」は「一曰三才定位」、「二曰竜行剝」、「三曰阴阳五行」、「四曰明諸穴法」、「五曰？式星砂」、「六曰砂水消納」、「七曰真假？勢」、「八曰阳局放澗法」、「九曰盤収竜問」、「十曰分余堅土」、「論貴賤脉」、「十一曰竜禽日時」、「十二曰歌括總言」を収める。「雜」は「龍訣歌」、「砂訣歌」、「倒杖法歌」、「塟生長歌」、「總論訣」、「皇朝萬壽太歳乙酉二月良日全書」、「雜」を収める。「地理析髄經」の第二六葉裏に「皇朝萬壽太歳乙酉（一八八五年？）二月良日全書」とある。裏副葉子二葉。裏表紙は表紙に同じ。

(C. なし) G. なし) (T. V. G. 1. なし) (T. V. G. 2. なし) (松本一　一二九頁　四六一『天南地輿寶書』一反、一七一頁　『郭氏地理節要』一帙) (松本二　なし) (山本一　なし) (山本二　なし) (川本　なし) (山本三　なし) (山本四　なし) (藤原　なし) (東　なし) (東写　なし) (TVQG. なし) (TVKHXH. なし)

一二、中學越史撮要　版本四冊五集　呉甲豆著　(二四四－一二－四)

第一冊（二六、八cm×一五、五cm）は、表紙は黄色、題僉は「中學越史撮要　春集」とある。二重楕円形の蔵書印影があり、内円には「仁居？」、外円には「22－PHO－HANG－CAN－22－HANOI」とある。副葉子一葉。封面表には「中學越史撮要」とあり、左右には龍紋、上には花紋がある。封面裏には「是書成於大南維新五年（一九一一）辛亥中元前當西暦一千九百十一年正中節後經承北圻學政會同座閲準刊行　全部四集値壹元陸毫（朱書）」とある。本文の前に「中學越史撮要　首集」（懐徳教授舉人呉甲豆著　侍郎領福安巡撫副榜范文樹閲定）があり、「史事」、「國號」、「疆域」、「族類」、「區畫」、「世變」、「書意」、「目録」からなる。本文（第二二～六五葉、

一頁八行、一行二一字前後）は「中學越史撮要　春集」で、「最古辰代之撮要史」から「楊延藝起兵」までを収める。裏副葉子一葉。裏表紙は表紙に同じ。

第二冊（二七、四cm×一五、九cm）は、表紙は黄色、題僉は「中學越史撮要　夏集」とある。第一冊目と同じ蔵書印影がある。副葉子は反古紙一葉（夏集第六二葉）。封面なし。本文（一〇八葉、一頁八行、一行二一字前後）は「近古辰代之撮要史」から「明人整居之政令」までを収める。裏副葉子一葉。裏表紙は表紙に同じ。

第三冊（二九、五cm×一六、〇cm）は、表紙は黄色、題僉は「中學越史撮要　秋集」とある。第一冊目と同じ蔵書印影がある。副葉子は反古紙一葉（秋集第四四葉）。封面なし。本文（一〇一葉、一頁八行、一行二一字前後）は「黎初諸帝之傳襲」から「亡國不能死之帝光纘」までを収める。第三三～三五葉および第一〇〇葉を欠き、第三八葉は錯巻。裏副葉子は反古紙一葉（夏集第五〇葉）。裏表紙は表紙に同じ。

第四冊（二七、五cm×一六、〇cm）は、表紙は黄色、題僉は「中學越史撮要　冬集」とある。第一冊目と同じ蔵書印影がある。副葉子は反古紙一葉（秋集第二〇葉）。封面なし。本文（七六葉、一頁八行、一行二一字前後）は「更新時代之撮要」から「保護政策死之精華」までを収める。第一〇葉を欠く。裏副葉紙は反古紙一葉（秋集第九〇葉）。裏表紙は表紙に同じ。

（C. なし）（G. なし）（T. V. G. 1. なし）（T. V. G. 2. 113『中學越史撮要』）（松本一　一三一頁　七七〇『中學越史撮要』一帙）（松本二　なし）（山本一　なし）（山本二　一〇二頁　二九八四『中學越史撮要』二本）（川本　なし）（山本三　なし）（山本四　なし）（藤原なし）（東　X－二－一四）（東写　なし）（TVQG. なし）（TVKHXH. なし）

一三、中學越史撮要　　版本四冊五集　　呉甲豆著

（二四四－一三－四）

第一冊（二六、〇cm×一四、八cm）は、表紙は黄色で、題僉なし。副葉子一葉。封面表には「中學越史撮要」とあり、左右には龍紋、上には花紋がある。封面裏には「是書成於大南維新五年（一九一一）辛亥中元前當西暦一千九百十一年正中節後經承北圻學政會同座閲準刊行印在河城行笈庸家數第二十二號」とある。本文の前に「初等中學越史撮要序（北寧備督丙戌科舉人梅園段展謹序）」、「初等中學越史撮要序（維新伍年冬孟　壬辰科副

榜侍郎領福安巡撫檀園范文樹謹序）」「中學越史撮要　首集」があり、「中學越史撮要　首集」（二〇葉）は「史事」、「國號」、「疆域」、「族類」、「區畫」、「世變」、「書意」、「目録」からなる。本文（四四葉、一頁八行、一行二一字前後）は「中學越史撮要　春集」で、「最古辰代之撮要史」から「楊延藝起兵」までを収める。裏副葉子は反古紙一葉（秋集第六九葉）。裏表紙は表紙に同じ。

第二冊（二六、〇cm×一五、〇cm）は「中學越史撮要　夏集」で、表紙は黄色で、題僉なし。副葉子一葉。封面には「中學越史撮要　夏集」とある。本文（一〇八葉、一頁八行、一行二一字前後）は「近古辰代之撮要史」から「明人整居之政令」までを収める。裏副葉子なし。裏表紙は表紙に同じ。

第三冊（二六、〇cm×一五、〇cm）は、表紙は二重で黄色と山吹色、題僉は二葉目に「中學越史撮要　秋集」とある。副葉子は反古紙一葉（秋集第一二葉）で、「啓定皇帝幸北圻、今天子巡狩既攻既同言徂東、昔先生肇封迺理至于海（海阳望宫鄧尚書所撰）越南天子萬々壽一豫一迓江北安恬九々峯王臣王土（北江望宫徐巡撫所撰）」と朱書あり。封面には「中學越史撮要　秋集」とある。本文（一〇一葉、一頁八行、一行二一字前後）は「黎初諸帝之傳襲」から「亡國不能死之帝光纘」までを収める。前記版本（一二）の欠けた部分（第三三～三五葉）である「世宗之經故與鄭松之滅莫」「阮秉謙之仕莫」「神尊之禅眞宗與其復帝位」がある。裏副葉子は反古紙一葉。裏表紙は表紙に同じ。

第四冊（二六、〇cm×一四、九cm）は「中學越史撮要　冬集」で、表紙は黄色で、題僉なし。副葉子は反古紙一葉（秋集第四八葉）。封面なし。本文（七七葉、一頁八行、一行二一字前後）は「更新時代之撮要」から「保護政策死之精華」までを収める。前記（一二）版本に欠けた第一〇葉「北河之置官與其建國規模」があり、さらに前記版本（一二）にはない「保護名人之列表」がある。裏副葉子なし。裏表紙に同じ。なお、「保護名人之列表」は、阮福暎の阮朝建国に協力した西洋人や阮朝建国後に来越した西洋人の原語綴りと漢訳名の対照表である。

付記は一二に同じ。